

## 資料 3 【参考資料】北城ろう学校の事例

北城ろう学校（きたしろろうがっこう）

## 【経歴】

- ・ 1978 年 開校 1984 年閉校

1964 年～65 年ごろ、米軍占領下の沖縄ではアメリカで猛威をふるっていた風疹が流行し、風疹にかかった妊婦から聴覚障害児が多く産まれたため、それらの児童を対象に特設された中学・高校 6 年限りの学校。

- ・ 1981 年

高校 1 年に進学した生徒たちから野球をやりたいと希望が出て、硬式野球部を結成する。（当時、野球部員 16 名）しかし、高校野球連盟への加盟を拒否され、軟式野球への転向を迫られる。



## 【沖縄県高校野球連盟の見解・説明】

- ① 日本学生憲章で定められている条項にあてはまらない。

日本学生憲章 第 3 章 高等学校野球 第 16 条

「それぞれの都道府県の高等学校野球連盟に加入することの出来る学校は、学校教育法第 4 章に定めるものに限る」

※聾学校は学校教育法第 6 章に規定

- ② 聞こえない子どもにとって、硬式野球は危険である。

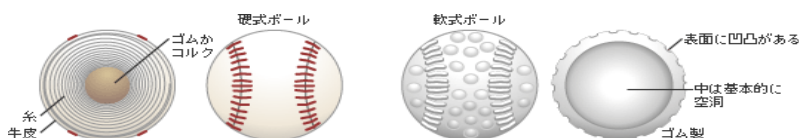


図 硬式野球ボールと軟式野球ボールの違いの例

## 【当時の反響】

- ・ 日本聴力障害新聞がこの問題をスクープする。
  - ・ 1981 年国際障害者年のテーマが「完全参加と平等」と決議され、更に関心が高まる。
  - ・ 朝日新聞でも取り上げられ、世論に火がつく。
- ↓
- ・ 1982 年 日本高等学校野球連盟会長の承認により、特例で沖縄県大会への参加が許可される。
  - ・ 2010 年 規定が全面改訂され、高等学校であれば加盟は認められる形となった。
- 第 3 条 (2) イ 高等学校野球連盟に加盟できる学校は、原則として、学校教育法で定める高等学校とし、日本高等学校野球連盟は、日本学生野球協会の承認を得て、高等学校野球連盟に加盟する資格および基準を定める